

医者も手品師もおしよりの地獄めぐり

あるところに医者、手品師、おしよりの三人が一度にそろって死にました。まず医者が歩んでいると、後から「オイオイ」とくるものがあります。待つておしよりの三人で、二人そろそろゆきますと、またあとから呼ぶものがあります。



(15)

文…木下牛太郎
え…伊藤栄一

これは手品師で、今度三人づれで話しながらずんずん走りますと、きれいな道ときたない道が、ふたまたになつてありました。どうもどっちへ行ってよいかわかりませぬ。

そこで、おしよりの三人のしゃくじやうのころんだ方へ行こうと、相談はきまりまして、やって見たら、きれいな方へころびました。ずんずん行きましたら、くろがねの門がたててあります。「ごめんない、ごめんない」と、とびらをたたきますと、ごす(からだは人で頭が牛の地獄の獄卒)が出てきて門の中へ



入れ、えんまの前へつれて行きました。えんまは大きな眼をひらき「医者も人々の病氣ばかり待つていたし、おしよりの三人の死ぬのをまち、手品師は人の眼をくらまして金をとった。サア三人とも

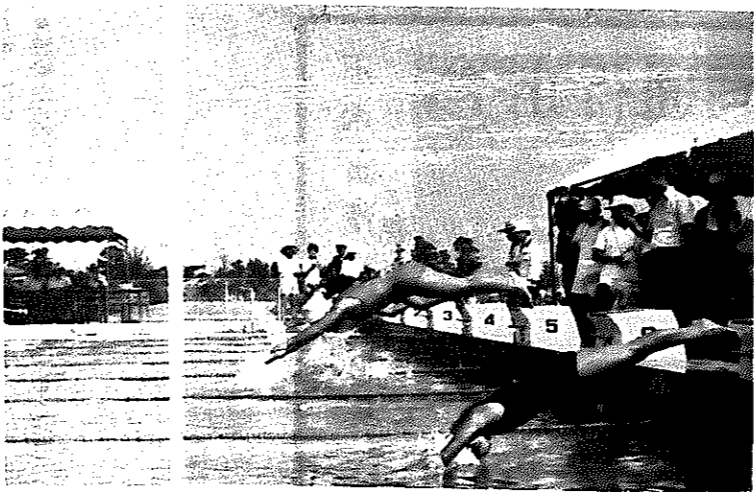
かまの中に入れてに殺せ」と鬼どもにいつけました。三人は、かまの中へ入りますと、おしよりの「どれどれ、わしがよい法をくんで湯をぬるくする」となにより口に、むくむく唱えました。ところが丁度いい加減の湯になつて、「湯治に来たようだ」と喜んでおられます。

仕方がないからあげて、今度つるぎの山へ上らせますと、手品師は「よしよしわしが」と、そのつるぎを、みんないもがらにしてしましました。三人は絶ちようで、「なめる程、見晴らしがよいわ」とまるで遊山にきたようです。鬼どもも、こまりはてで、えんまのところへつれてもどり、そのわけを申し上げますと

「そんなら仕方がない。しよう塚のばばにくわせてしまし」と大王の前で三人とも一度にのませました。医者も

「今度はおれの番だ」といいながら、腹の中で笑う筋をひっぱれば、ばばは非常に笑いだす。次におこる筋をひっぱれば、えんまに向かつて大変おこります。その中にまた、大声で泣きだします。サア大きなき。げらげら笑う。ぶつぶつおこる。くしくし泣く。とうとうばばに、はきださせました。

そこで、えんま大王は「貴様らは、ここへくるのでなかつた。ゆるすからあのきたない道を行け。極楽へ行くから」とついに三人は地獄の苦をのがれました。



▲黒んぼ大会？ 実は小学生の水泳大会

8月10日、第一中学校のプールで、市内小学生の水泳大会が行われました。プールサイドには元気いっぱいの子どもたちが……どの子もまっ黒に日やけし、黒んぼ大会といった感じも――

ヒックス



市民文芸

〈川 柳〉

すべらしたそのひと言で棒に振る
腹の尻へ夏痩せ無理をして食べる
家中へ絨口令布く孫昼寝
ご機嫌を取り過ぎ妻に疑われ
夏痩せの人をいたわる人も痩せ
下心ある菓子折が届けられ

吉川 彰
長井 徳市
大井 義雄
中村 尚治
山岡 フミ
吉川 末吉

空財布空気をに入れて持ち歩く

意味悪いお世辞やっぱり裏があり
奥の院信仰の足で登り切る
色っぽさ増した娘に親不安
縄のれん屋は汚れがよく目立ち
目と鼻の用も新車の足を借り
鬼の面どこか子の好く相を持ち

岡村 清
米野 光雄
成田 吉子
保科 盛広
広野 仁一
今井 七郎
高橋 裕四雄

〈俳 句〉

夏深く疲れし蟬のむせび泣き
渡辺 勤

県中学一の子剣士 第一中の布川孝子さん

8月8日、新発田市を会場に行われた県中学選抜総合大会で第一中の布川孝さんが剣道女子個人の部で見事、県一になりました。得意技はメン、中学から竹刀をにぎったといえますから、その努力は立派といえます



模範青少年 花岡正一さんが県知事表彰

昨年の十一月に、市の善行青少年として表彰された、花岡正一さん(魚町)が、このほど模範青少年として県知事表彰を受けました。花岡さんは妹と二人暮らし。生計をたてるため一生懸命に働いています。



▲早朝歩け歩け運動 にぎわう中ノ口川堤防

朝のさわやかな空気を胸いっぱい……と、白根地区公民館では「早朝歩け歩け運動」を、八月と九月の第一・第三日曜日の朝六時から行っています。

コースは中ノ口川堤防で、距離は約三・一キロほど。毎回、多くの人たちが参加し、体力づくりに励んでいます。



メイン・コテ・ドオー 剣道合宿講習会

こととして
八回目。十七日から十九日まで二泊三日の日程で、教育センターで行われました。約八十人の受講生は、暑さに負けず、心身の鍛錬に励んでいました。

校内キャンプ―戸石小 きもだめしもあるヨ～



団体生活を通じて自律、協力、奉仕などの尊さを体験させようと八月二十一日・二十二日、戸石小学校で校内キャンプが行われました。今年で六回目のキャンプには、三十五人の児童が参加。キャンプファイヤー、きもだめしなど、みんな貴重な体験をしたようです

〔参加して〕



木村剛志くん
(六年)

今度で三回目なだけに、何回やっても楽しいです。今年から、班ごとに飯ごうをたけるようになったことがうれしい

上越市で県青年大会

第二十六回県青年大会が、八月十九・二十日の両日、上越市で行われました。

市代表選手の成績は次のとおりです。(上位入賞者のみ)

- 〈成 績〉(陸上競技) 総合四位
- (種目別) 男子三種競技二位 寺崎信昭
- 女子走り高跳び二位 田村品子
- (剣道) 団体三位 (柔道) 個人一位 富山 豊
- 美術工芸(書道) 最優秀賞 金子 繁
- 優秀賞 諏訪間秀子 松尾恵子

紙面の都合で「グループ登場」は、今月は休ませていただきます。なお、掲載希望のグループは、「広報広聴係」(☎二八三)へ、ご連絡を